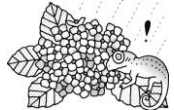


保健だより6月号



2014年6月13日発行

松山聖陵高等学校 保健課

梅雨時は、じめじめ蒸し暑い日があるかと思うと、ひんやりと肌寒い日もあります。また、梅雨の晴れ間には、真夏のような日差しが照りつけて、気温が急上昇することもある。

天気や気温の変化に対応しきれず、体調を崩す人も増えてきます。睡眠・食事をしっかりとって、元気に梅雨を乗り切りましょう。

(参照：日本学校保健研修社「健」2014-6月号)



カラコン使用に注意！！



国民生活センターは5月22日、カラーコンタクトレンズ（カラコン）の粗悪品が出回っているとして、注意を呼びかけました。カラコンは、瞳の大きさを変えられることで人気ですが、国の承認を受けて販売されている製品でも、レンズの品質が原因で、透明なコンタクトレンズよりも眼障害を起こしやすいものがあるといわれています。

全国の消費者センターに寄せられるカラコンに関するトラブルの相談は近年増加しており、2009年度からは年間100件前後とされています。日本コンタクトレンズ学会によると、2012年7月～9月の3ヶ月間に、カラコンによる眼障害が395症例報告されています。

《 中学3年生の女子の事例 》

量販店でカラーコンタクトレンズをファッション用に買い、寝るとき以外1ヶ月ずっと装着していた。両目に痛みを感じ、目が開けられなくなり眼科を受診。医師に「角膜が傷ついている。失明の可能性もあるので大きな病院を紹介する。」と言われた。

【トラブルの原因】

- ・ 酸素透過性が低い
- ・ 着色部分が角膜や結膜を傷つける可能性がある
- ・ 正しいケアが行われていない

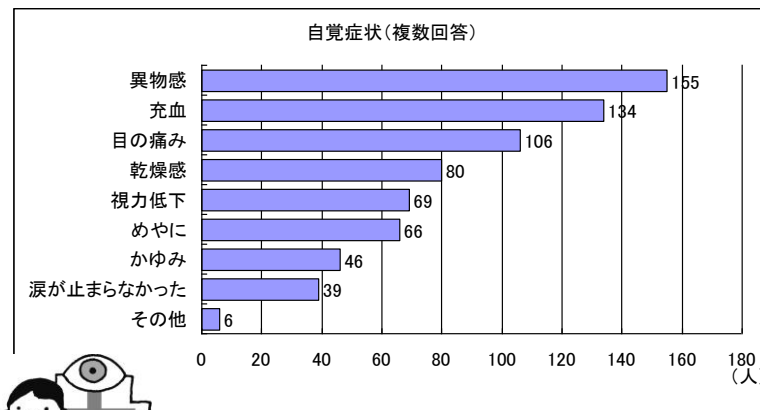


国民生活センターは、国の承認を得て販売している17の製品を調査しました。その結果、着色部分がレンズの表面に露出していた製品は11にのぼり、さらに、そのうちの9製品の製造販売元等のホームページには、着色部分がレンズの中に埋め込まれている旨の広告表示がされていたそうです。

その他、レンズケアが必要な9製品のうち、1つの製品でレンズケアによる色落ちが見られたほか、度入りの16製品のうち15製品で8時間の装着で目が充血したり、角膜に傷がついたりするなどの問題が発生しました。

【使用による目のトラブルについて】

最近の1年間に目の調子が悪くなったことがあったかの質問では、23.7%の人がカラーコンタクトレンズを使用していて、目の調子が悪くなったことがあると回答し、異物感や充血、目の痛みといった症状が表れたそうです。



【みなさんへのアドバイス】

カラーコンタクトレンズには、品質が原因で透明なコンタクトレンズよりも眼障害を起こしやすいものがあることが分かりました。カラーコンタクトレンズを使用する場合には、リスクを十分に理解した上で、必ず眼科医を受診し処方に従ったレンズを選択するようにしましょう。

カラーコンタクトレンズを使用していて、目に異常を感じた場合には、重篤な眼障害を起こしている可能性もありますので、直ちにすべてのコンタクトレンズの使用をやめ、眼科を受診するようにしましょう。目に異常を感じていなくても、3ヶ月に1回は必ず定期検査を受けるようにしましょう。

レンズの使用期限を守りましょう。繰り返し使用ができるレンズは、レンズケアを毎回正しく行うようにしましょう。

(独立行政法人国民生活センター「報道発表資料」参考)